

21 企業・団体が 出前授業

毎日新聞社 & 毎日小学生新聞

学びのフェス 2025 春

東京・昭和女子大学



ディレクティングマップ
世界地図と国旗で
遊んじゃおう！

国旗芸人の火災報知器・小林知之さんが、国旗の秘密を教えました。自分だったらどんな色やデザインにするかを考えて、自由にオリジナルの国旗を作りました。



パズルステージ
パズルに挑戦！

「ことばパズル」や「すうじパズル」など、たくさんの種類のオリジナルパズルを自由に楽しみました。自分でパズルを作ることに挑戦しました。



英文毎日室
Look, look!

二つの絵を見比べる「違い探し」に挑戦。英語を楽しく学ぶためのヒントを、英文ニュースサイト「ザ・マイニチ」の編集長から教わりました。

親子900人が来場

企業や団体の出前授業を集めた小学生向けのイベント「学びのフェス2025春」（毎日新聞社主催、昭和女子大学など協力）が3月26日、東京都世田谷区の昭和女子大学で開かれました。21企業・団体が参加し、春休み中の親子900人が、体を動かしたり、「お仕事体験」をしたりして、「学びの場」を楽しみました。

【坂井友子、斎藤広子】



昭和女子大学 初等教育学科
手作りおもちゃの
エネルギー

身の回りにあるものを使って「ぶんぶんごま」や風車など、昔ながらのおもちゃを作りました。昭和女子大学の学生と一緒に遊びながら観察して、動く仕組みを考えました。



オルガニート愛好会
オルゴールの曲を作ろう

紙にたくさんの穴があいた「曲カード」を入れ、ハンドルを手で回すと音楽が流れる「オルガニート」。作曲用カードに絵や文字をかくて穴をあけ、オリジナルの曲を作りました。



毎日教育総合研究所
めざせ！ ニュース博士

ニュースの理解度がチェックできる、毎小でもおなじみの「ニュース検定」。今回の学びのフェス用に作られたオリジナル問題に挑戦しました。

「ドリッグ×ニッター」の教室では、学びのフェスでは初めての球技の授業が行われました。卓球メダリストの平野早矢さんが、直接子どもたちに卓球を手ほどきしました。

「お仕事体験」も充実していて、歯科医・歯科衛生士や空港の地上スタッフを体験する授業や、すぐろくで仕事のルールを学ぶ授業がありました。子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。

SDGs（国際連合の持続可能な開発目標）につながる授業も多く、田んぼに使う農業と農業についての授業や酪農を紹介する授業がありました。

また太陽光で発電する「ソーラーちようちん」づくりでは地球温暖化について学びました。毎小の連載「もちもち♥ぱんだ」のオリジナル缶バッジづくりも盛況でした。

木の小皿やバターナイフづくりに姉妹で参加した小学3年、畑中春乃さんは「初めてカンナを使ったけど難しかった。きれいな木の小皿ができてうれしかったと話していました。また、会場全体を利用したクイズフリーが今回も開催され、毎小の連載の中にヒントがあるクイズが用意されていて、子どもたちは毎小のページをめくって答えを探していました。

カミオジャパン
オリジナルちびばんを作ろう

毎日小学生新聞の大人気連載「もちもち♥ぱんだ」を生み出すカミオジャパンのクリエイターから、かわいいキャラクターを作るためのアイデアの出し方やイラストの描き方を教わりました。その後で「ちびばん」を自由にデコレーションして、オリジナルの缶バッジを作りました。

